

# 県内経済の動き

## 概況

〔2020年12月～2021年2月の動き〕

### 持ち直しの動きがみられるものの、個人消費は弱含み

鉱工業生産指数（12月）は15カ月ぶりに前年同月比上昇、通関輸出額（1月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は3カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は5カ月ぶりに前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（1月）は3カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに年同月比減少した。有効求人倍率（1月）は前月比+0.05ポイント上昇の1.21倍で、2月の企業倒産は前月比1件減の2件、負債額は同1億9百万円減の2億52百万円となった。

新型コロナウイルスに対する県独自の緊急事態宣言は2月に解除されたが、当面は感染状況を見据えた経済活動が続く。